

内海軍... 御用... 後... 申... 皇... 國... 海... 伊東武重
十二月十五日

大隈實閣

皇批下

再白退... 年未歲首

御滿... 降... 皇... 再

名東縣出張見向... 景況上報

謹白十二月八日... 高松支廳... 讚... 久保... 御趣意... 殿下御沙汰... 敬承... 官...

名東縣出張見聞之景況上報

謹白十二月八日午後、媛縣出張名東縣に巡回

高松支廳ニ於テ詰官負⁺出張ノ大意申す

讚州ノ景況及尋問同日十二日本廳到者推令

久保断ニ推名事一西野左保ニ面接

御趣意ノ方申達シ且 殿下御沙汰

ノ方致論達ス如何トモ敬承者又官負

一統志趣意ヲ於勉勵⁺仕方拜答出ス

一當島ハ旅高輻湊ノ地ニテ雜沓浮言亦ハ

速ニ消散シ先ツ平穩ニテ安否ノ危殆

ナハナク⁺亦ハ兵農政民事ノ利害相失

ニ至テハ概見シ難ク今所差由ノ三國土

地肥沃物産蕃殖漁塩ノ利アリテ南海

ノ要衝ニ當リ畿内山陽ニ對接シ津港

環列各通商ノ便ヲ得民庶殷富ナル所

以ハ格不異同考之ヲ共ニ國ノ形勢者

隔絶淡路ハ大島ニシテ讚波阿波ノ

間ハ峽山横絶東邊僅ニ一經路ヲ通ルル

而已ニシテ人心風俗自ラ趣ヲ異ニシ淡

路及南阿ノ俗ハ淳朴ニシテ業ヲ勉メ北

阿及讚波ノ俗ハ狡猾ニシテ財ヲ計ル殊

ニ西讚ハ愚民蜂起ノ餘孽一牛疫ノ流

患^{香川郡邊籠牛疫千七百七十頭}東讚北阿ハ非常ノ水害

ヲ蒙リ南阿淡路ハ稀者⁺早損且牛疫

ノ患害^{淡州島籠牛疫千七百七十頭}又並物ノ品類

ニ依テ損害ノ不同アリ讚州ノ砂糖米穀ニ

於ル阿州ノ藍楮ニ於ル淡州ノ穀物ニ於ル

於ル阿州ノ藍楮ニ於ル淡州ノ穀物ニ於ル
各不均ト雖先概シテ凶作ニ屬シ高粟モ
從テ衰ヘ疲弊之景況ニ相見ヘ家及モ共
懇配致シ其兵前其地承人情加之島嶼
ノ教殆ト二百ニ及ヒ政令布達モ定額ノ官
負ニテハ不行届情實モ者之依テ事務
以才ニ其後レ其趣委細ノ儀ハ帰京ノ上
可申上矣

一士族ノ方向先ツ概シテ依然タル景況ニテ頑
固文弱頗ル虚恥ニ乏シク家祿固守何
カ鎖束ノ愁訴ホモ多端ニ有之士風敗類
ノ趣全神旧藩ニテ祿高改正至テ寛恕
ニ有之其如ヨリ概不目今ノ窮乏ハ其レ
以兵却テ奮發自立ノ域ニ不立至尤談
政淡路ノ士族ハ稍奮發就産ノ目途ヲ立
テ志氣面目ヲ改メ其景況モ者之レ
者之外詳細ノ儀ハ帰京ノ上可申上就

テハ四由地方並用向來濟其府連ニ及
命可仕ノ如紀州ノ儀ハ日ニク南海道
ノ一部當所ノ降参ニテ事實關涉ノ
都合モ者之レ及祀察度且又大坂造幣
寮ノ儀ハ其テ本務關係ノ以事モ者之者
ノ折柄府實地見聞ノ上帰京仕度此其
上報旁申上置其誠惶再拜

明治六年十一月十日